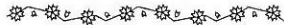


# ほんの本のひととき



池袋本店第二事業部  
松村 千晶



## 『北欧 考える旅』 福祉・教育・障害者・人生



蘭部英夫 書  
全国障害者問題研究会出版部  
定価 本体一七八五円

もし私が北欧の人間だったら、年をとることも、障害をもつことになることも、今ほど恐れることもないのだろうと思う。障害をもつても安心して生活ができるということ。北欧と日本の、福祉に対するあまりにも大きい考え方の違いに驚かされる。

この本は、全国障害者問題研究会の事務局長である蘭部氏が、北欧への視察をまとめたものである。蘭部氏自身、50歳代の仕事の他に介護問題も抱え始めた「アラウンド55（ゴー）」世代でもある。誰もが年をとっていく中で、日本では障害を「自己責任」とされ、個人や家族にその責任や負担があり、不安を持って生活している。

では、北欧ではどうか。医療費や介護料はもちろん無料。社会が障害について責任を持つシステムがある。福祉に希望と安心がある。スウェーデンでは、移動保障費で年間1600万円、パーソナルアシスタントを1日12時間、無償で利用している人もいる。誰に対しても7万円は余暇費用として確保されている。

これから高齢化を迎える中で、自分ならどう生きたいかを考えさせられるとともに、人の優しさが感じられ、あたたかな気持ちになる一冊だった。